

**MIZBERING**  
**ISHINOMAKI**

**2018 の取組み概要**

H30.12.20~H31.1.7

# 石井水門の電飾点灯式

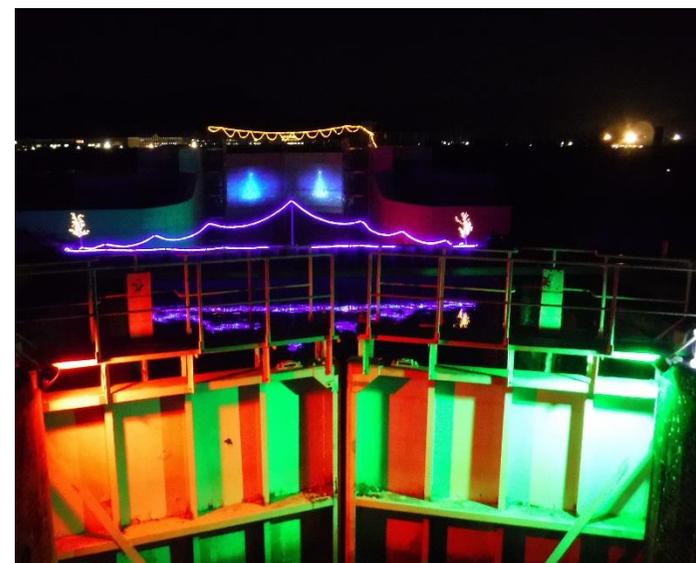
～ミズベリング石巻～



平成30年12月20日（木）16時40分に旧北上川と北北上運河の合流点にある石井水門（工事中）にて、「イルミネーション点灯式」を開催しました。点灯式には約80名の方に参加頂き、会場に集まった皆さんのカウントダウンに合わせてライトアップを行ったほか、石井水門のゲートに映像を映すなど、普段とは違った幻想的な空間を演出しました。

寒さを感じながらの点灯式開催となりましたが、お手製のピザ釜でつくったピザと焼き芋が振舞われ、冬ならではのイベントを多くの方に楽しんでいただきました。

イルミネーションは引き続き1月7日（月）まで、日没～21時頃点灯を予定していますので、ぜひご覧ください！



点灯の瞬間には多くの人で賑わいました

工事中の石井水門がイルミネーションで彩られました

石井閘門(写真手前)もライトアップ！  
幻想的な景色を楽しめます

平成30年10月28日、石巻中央復興第一住宅にて「水辺で芋煮会」を開催しました。今回の芋煮会は、復興住宅お住まいの「さくらの会」の皆様と協同で実施し約90名の方に参加頂きました。復興住宅にお住まいの方、地域住民の方に多く参加していただき、これまでとは違った雰囲気イベントを開催することができました。

また、河口部船上見学も合わせて実施し18名の方に「ひだかみ号」へ乗船いただき、河口部の復興状況を船上より見学していただきました。

秋晴れの中、おいしい芋煮を堪能しながら、水辺を利活用した今後の活動についてもアイデアが飛び交い、今回もミズベリングの輪を広げることができました。



次回の開催もどうぞ期待！

## 開催概要

日時：平成30年10月20日（日）  
 場所：石巻専修大学 5号館5301講義室  
 主催：北上川「流域圏」フォーラム実行委員会  
 協賛：（一社）東北地域づくり協会  
 後援：石巻市・石巻観光協会・石巻専修大学  
 宮城県建設業協会石巻支部・NHK仙台放送局  
 河北新報社・岩手日報社・石巻日日新聞・石巻かほく

## 開催主旨

川村孫兵衛らによる川の付け替えにより河川舟運が発展。川湊として江戸時代から発達した石巻。石巻発展の歴史を振り返りながら、東日本大震災からの復興に向けて進む「かわまちづくり」を学び、未来に向けた川とまちづくり、そして流域とのつながりを考えるため開催された。

## プログラム

- ・主催者あいさつ
- ・基調講演「信濃川における水辺活用の取り組み～ミズベリング信濃川やすらぎ堤～」
- ・歴史解説「川湊 石巻の歴史」
- ・報告 「旧北上川かわまちづくりの進捗状況」
- ・パネルディスカッション 「未来に向けた川とまちづくりと展望」



北上川「流域圏」フォーラム実行委員会委員長 平山健一氏

## 「信濃川における水辺活用の取り組み～ミズベリング信濃川やすらぎ堤～」

新潟市都市政策部次長兼まちづくり推進課長 鈴木浩信氏

まちなかの河川空間を活用して水辺の活性化に取り組んでいる新潟市の先進的な事例について説明。新潟市内を流れている信濃川にある「やすらぎ堤」で展開されているミズベリングプロジェクトは、当初、全体のマネジメントを行政主体で行っていたが、民間に委託することで水辺の活性化を図っている。プロジェクトの始まりから現在までの水辺活用の取り組みについて紹介。

## パネルディスカッション「未来に向けた川とまちづくりと展望」

コーディネーター：実行委員長 平山健一氏

パネリスト：新潟市都市政策部次長兼まちづくり推進課長 鈴木浩信氏  
 石巻専修大学 准教授 庄子真岐氏 （一社）石巻観光協会 会長 後藤宗徳氏  
 （株）街づくりまんぼう まちづくり事業部 課長 荻谷智大氏  
 北上川に舟っこを運航する盛岡の会 事務局長 阿部 優氏

パネルディスカッションにさきがけ、各パネリストから自己紹介と川湊石巻の魅力、北上川の印象などを発言して、地域の個性や石巻におけるかわまちづくりのイメージを共有した。

## 「川湊 石巻の歴史」

石巻市教育委員会複合文化施設開設準備室 室長 佐々木淳氏

川湊石巻としての古代からの歴史や北上川改修、江戸時代の航路について諸説を読み解き、最新の研究結果をもとに説明。石巻は平泉藤原氏の時代（11世紀頃）にはすでに湊として機能していたと考えられている。江戸時代初めの北上川の改修で、流路が安定し水運の便が開けたことで、北上川の河川舟運と東回りの航路の結節点となり、物資の集散地として大きく発展した。



## テーマ① 川を活用したまちづくり

- ・地域の子供たちや若者がチャレンジしやすいことをたくさん仕掛けて、賑わいをつくっていただけらおもしろいのではないかと。
- ・川だけでなく背後の町等を含めて川をプロモーションする必要がある。
- ・川の使い勝手がいいように考えていくことが必要。
- ・プレーヤーが必要。石巻に参画してくれる人が足りない。

## テーマ② 流域各地域との広域連携による石巻の活性化

- ・やりたいことに興味を持ってもらえるか、やろうと思っている人が魅力的であるかが重要。
- ・広域連携は非常に難しい。やれるところからやっていく、できる地点からちょっとずつ、つなげていくことが大事。

## 「旧北上川かわまちづくりの進捗状況」

国土交通省北上川下流河川事務所長 高橋政則氏

石巻市と国が連携して行っている水辺整備について、現在整備している6地区の進捗状況を説明。地元説明会を頻繁に開催するなど地域住民と連携して「かわまちづくり」が進められており、すでに完成している中央一丁目14・15番地区のプロムナード堤防をはじめ、各地区が今どのような状況になっているのか、将来どのようなようになるのか、一般の人や地元の方々へ、最新の水辺整備の進捗状況を報告。



会場の様子



パネルディスカッションの様子



シンポジウム終了後の記念撮影

# パネル展を実施しました！ ～ミズベリング石巻～



平成30年6月23日（土）、同日開催されました「いしのまき復興マラソン ウォーキングの部」にあわせて、コースである中央1丁目14・15番テラスとスタート・ゴール地点である中瀬のみらい館前にて「パネル展」を実施しました。

復旧・復興事業や北上川改修の歴史、ミズベリング石巻の活動に関するパネルのほか、今年は石巻市・宮城県の事業についてのパネルや川開き祭りのポスターなども設置し、170名程度の参加者の方に見学いただきました。

当日は気持ちの良い天候となり、堤防やテラス以外にも先月5月25日に完成お披露目会を行った堤防天端にある椅子に腰掛けて休憩し、気持ちの良い水辺の空間を楽しんでおられました。



復興ウォーキングにあわせてパネル展を実施！多くの皆さまにご覧いただきました！



堤防やテラス、完成した堤防天端の腰掛けで休む人々

平成30年4月9日に本年度第1回目となる「ミズベリング石巻ミーティング」を開催しました。昨年度の活動の振り返りと自己紹介を行ったほか、今後の活動に向けた意見交換と春の目玉イベントである鯉のぼり・大漁旗イベント開催に向けた具体的な実施方法について話し合いました。



## 今後の活動に向けた意見交換について

- ・ イベント参加者に向けて、スタンプやカード・ステッカーなどを用いてスタンプラリー形式にし、たまたたらファンドールンカレーなどのプレゼントを渡してはどうか。
- ・ イベント情報を周知するために、まずはミーティング参加者が、SNSを利用して各10名ずつに広報すればよいのではないかな。



## 鯉のぼり・大漁旗イベントについて

- ・ 鯉のぼりで川を横断するためには、一定数の鯉のぼりと太い柱が必要であるため、今年度の実施は難しいのではないかな。
- ・ 鯉のぼりの代わりにライフジャケットを立ててみるのはどうか。
- ・ ライフジャケットを使った“ライフジャケットリレー”を一緒に実施してはどうか。
- ・ 幼稚園の園児たちに画用紙で鯉のぼりを描いてもらい、設置してはどうか。
- ・ バックホウ2台のアームに紐をくくりつけて、鯉のぼりを掲げてみてはどうか。
- ・ 街づくりまんぼうさんの鯉のぼりイベントとタイアップしてはどうか。



## 今年度の鯉のぼり・大漁旗イベントの実施方針

- ・ 今後の川の横断に向けて、今年度は鯉のぼり・大漁旗の募集を開始し、毎年大きくしていけばよいのではないかな。
- ・ 今年度はミズベリングの旗を中瀬のフェンスに取り付けて、来年度以降は集まった鯉のぼりを掲げていけばよいのではないかな。
- ・ 集めた鯉のぼりの保管場所も考える必要があるのではないかな。



今年度も“ミズベリング石巻”を盛り上げます！